

放送大学大学院文化科学研究科修士課程 臨床心理学プログラム【参考用資料】

【修士全科生】臨床心理学プログラムへの入学～臨床心理士受験資格取得を見据えて
【修士選科生・科目生】への入学・履修をご検討の皆さまへ
臨床心理士の受験資格取得を目指し、放送大学大学院【修士全科生】への入学をする前に
【修士選科生・科目生】へ入学し、修了要件の一部単位修得をお考えの皆さまのために、
知っておくと役立つ【修士全科生】臨床心理学プログラムに関する情報を抜粋しました。
※修士選科生・科目生はプログラムへの所属はありません。

放送大学ウェブサイト 関連情報ページへのアクセス

修士全科生
入学第1次
(筆記試験)
過去問題一覧



臨床心理学
プログラム
案内



パンフレット
(PDF)



2024年度 放送大学 大学院案内 P18 から抜粋

臨床心理学プログラム 修士課程

心の問題が深刻さを増す現代、密度の濃い演習・実習を通して臨床心理士の育成と再研修を行う。

修士課程

人材養成目的

人材養成目的 不登校や引きこもり、いじめ問題、子育て不安、虐待やDV、中高年の職場環境の問題、喪失や死との出会い、そもそも生きてゆくことにまつわる不安など、現代においては、こころの問題は深刻さを増し、専門的・実践的な取り組みが求められています。臨床心理学プログラムでは、教育・医療、保健、福祉、司法、労働・産業等さまざまな分野で、広い視野を持ちながら、実践的に活動できる高度専門職業人（臨床心理士）の育成及び再研修を目的とします。

求める学生像

- 臨床心理学は、心理臨床の実際の中から「臨床の知」を紡ぎだそうとする学問であるので：
- 既に心理臨床現場で経験を積んでいる場合は、心理職としてのレベルアップを目指そうとする人々
 - そして、心理臨床経験を学問として深めたいと希望する人々
 - これから心理臨床現場で専門的な心理職として仕事をしたいと望んでいる人々

過去の修士論文のテーマ例

- 身体障害者の社会参加評価尺度の開発
- 感情労働がバスドライバーに及ぼす交通心理の研究
- 育児休業後職場復帰期の母親に対する心理的援助の研究 ～バウムテスト・風景構成法を用いて～
- アスペルガー症候群の本人告知の必要性和自己理解支援 一当事者へのインタビュー調査から～

2024年度 放送大学 大学院案内 P19 から抜粋

臨床心理士の受験資格取得について

放送大学大学院は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の第2種指定大学院となっています。臨床心理学プログラム所属の修士全科生の方は、所定の単位を修得、修了した後、1年以上の心理臨床実務経験※を経て、臨床心理士資格審査の受験資格を得られます。

詳細は本学ウェブサイト <https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/qualification/psychologist2/> をご覧ください。



※修了後1年以上の心理臨床実務経験とは、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認めるものです。詳細は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会ウェブサイトで確認してください。なお、放送大学では施設等の紹介は行っていません。

▶ 修了要件

修士の学位取得には次の条件をいずれも満たす必要があります。

1. 2年以上在学すること。(在学年限*1は5年)

2. 右表の単位数以上を修得すること。

3. 修士論文の審査及び口頭試問に合格すること。

*1 在学年限とは最長で在籍できる期間のことです。

*2 他プログラムも含め大学院で開講している放送授業またはオンライン授業の単位

※放送大学大学院修士選科生・修士科目生として修得した単位は原則、修士全科生の修了要件単位として認められます。

■ 修士課程修了のために必要な単位数

プログラム名	修得すべき最低単位数 (合計)	内訳		
		研究指導	所属プログラムから 修得すべき最低単位数	左記以外の 単位*2
臨床心理学	34単位	8単位	必修科目16単位 + 選択必修科目5区分から2単位ずつ 計10単位 = 計26単位	0単位

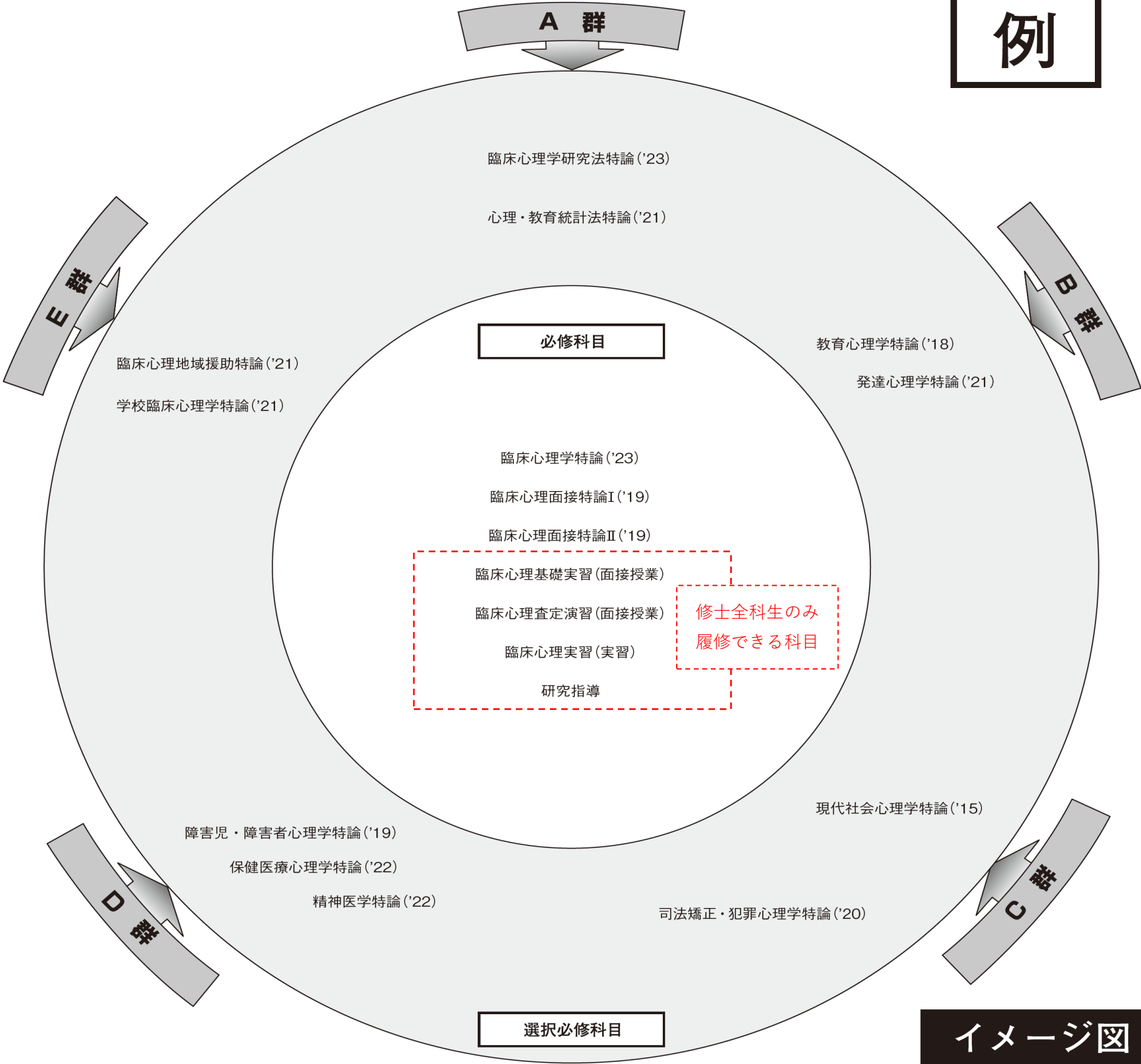
放送大学大学院文化科学研究科修士課程 授業科目案内 2023年度 第2学期 P12 から抜粋

(このページの資料の開講科目などは2023年度のもので、【参考用】としてご覧ください。)

大学院修士課程科目系統図

臨床心理学プログラム

例



臨床心理学プログラムには、必修科目と選択必修科目があります。

選択必修科目は、A～E群の中からそれぞれ1科目(2単位)以上、計10単位以上修得する必要があります。

本学大学院は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による第2種大学院指定校となっており、上記の必修科目・選択必修科目の履修が大学院修了条件となっています。

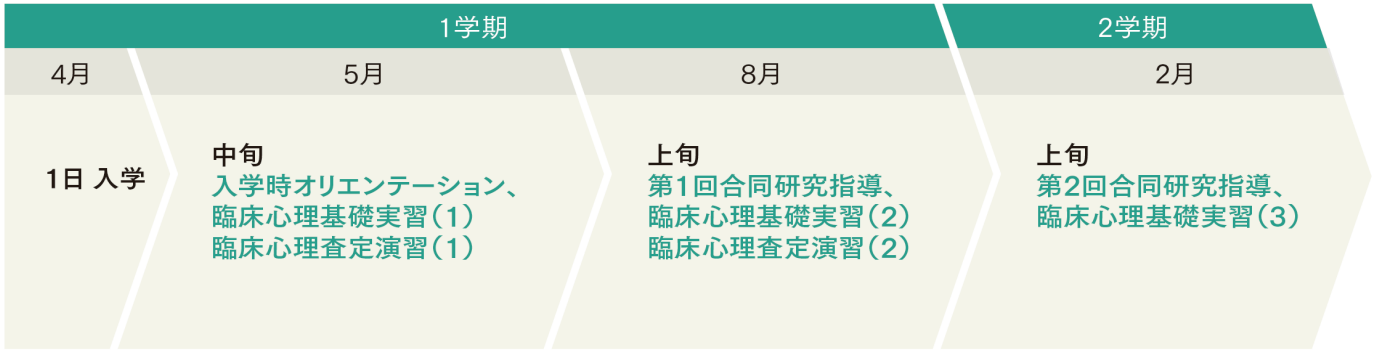
【修士全科生】臨床心理学プログラム 入学後のスケジュール

▶ スケジュール

■ 臨床心理学プログラムの場合

▶ 研究指導および演習・実習のスケジュール(年度により多少異なります。)

第1年次



第2年次



研究指導担当教員の判断により、月1回程度、原則として個別あるいはゼミ形式による対面指導を実施します。状況に応じて、メディアによる補完的指導もあります。

臨床心理学プログラム所属の修士全科生については、実習および演習(面接授業)があり、実践的な力を身につけられるようカリキュラムが組んであります。

実習・演習について

- 1 臨床心理学プログラム所属の修士全科生については、放送授業(「臨床心理学特論」「臨床心理面接特論I・II」)、面接授業(実習・演習)および研究指導等が必修となっています。
なお、実習・演習は、臨床心理学プログラム所属の修士全科生以外は履修できません。
- 2 第2年次に履修する「臨床心理実習」の学外実習施設については、履修者の居住地に近い施設を確保するよう努力しますが、近隣都道府県の施設に通っていただく場合もあります。また、臨床心理実習費として別途20,000円が必要となります。
- 3 実習・演習を受ける際の旅費等の経費は各人で負担してください(交通機関によっては学割の利用も可能です)。

年次	科目	単位数	時期(年度により多少異なります。)	場所
第1年次	「臨床心理基礎実習」	2単位	5月中旬(予定)(2日間程度)	本部
			8月上旬(予定)(3日間程度)	
			2月上旬(予定)(5日間程度)	
	「臨床心理査定演習」	4単位	5月中旬(予定)(4日間程度)	本部
			8月上旬(予定)(3日間程度)	
第2年次	「臨床心理実習」	2単位	年間90時間程度の実習 例1)7時間/日×13週 例2)3時間/週×30週	学外実習施設 ・病院 ・教育相談所 ・児童相談所 など
			臨床心理実習・本部面接授業 8月下旬(予定) (3日間程度)	本部

1年次の5月中旬に「オリエンテーション」「臨床心理基礎実習」「臨床心理査定演習」が連続7日間程度、8月上旬に「臨床心理基礎実習」「臨床心理査定演習」が連続6日間、2月上旬に「臨床心理基礎実習」が連続5日間、さらに2年次8月下旬に「修士論文中間報告会」「臨床心理実習・本部面接授業」が連続3日間程度開設され、臨床心理学プログラム所属の修士全科生は全日程参加が必要となります。

専任教員一覧 (専門分野・指導可能なテーマ)



大山 泰宏 教授 **修士**
心理臨床学／力動的心理療法
臨床心理学の多くの領域に関して指導します。研究手法は、文献研究、質的研究、計量研究など、何でも歓迎です。



橋本 朋広 教授 **修士**
臨床心理学／ユング心理学／ロールシャッハ法
心の苦しみや癒しの問題に深層心理学的にアプローチする研究。ロールシャッハ法など投影法に関する研究。



丸山 広人 教授 **修士**
臨床心理学／学校臨床学
学校臨床、スクールカウンセリング、親子関係など、生きる場の成長と心の成長の関係についての研究を指導します。



佐藤 仁美 准教授 **修士**
臨床心理学
心理臨床における表現とその対話性について。



波田野 茂幸 准教授
臨床心理学
臨床研究、特に児童思春期臨床、教育臨床に関する研究。
※公認心理師教育推進室兼担のため
大学院研究指導は担当しません。

修了までに必要となる費用 よくある質問 Q & A

【修士全科生】 臨床心理学プログラム 修了までに必要となる費用

修了までに必要となる費用の目安（最短の2年で修了の場合）

学生種【プログラム】	入学検定料	入学料	授業料	臨床心理 実習費	研究指導料	合 計 (最短修了の場合)
修士全科生 【臨床心理学プログラム】	30,000円	48,000円	12,000円/単位 × 26単位 = 312,000円	20,000円	96,000円/年 × 2年 = 192,000円	60.2万円 (2年)

※この他、研究指導等を受けるための旅費等は各人の負担となります。
※本表は、2024年度からの授業料および研究指導料の改定後の費用を元に算定しています。

よくある質問 Q & A

Q 修士選科生・修士科目生として修得した単位は、後に修士全科生として入学した場合、修了要件の単位として認められますか？

A 修士全科生として入学した学生が、本学大学院修士課程において既に修得した単位があるときは、修了要件の範囲内で修了の要件となる単位（研究指導および面接授業を除く）として認定することができます。ただし、当該修得単位が既に本学教養学部の全科履修生の卒業要件となる単位として認定されたものであるときは、認められません。

Q 修士全科生として修士を取得する年限はありますか？

A 修業年限は2年、在学年限は5年です。2年以上在学し、在学年限内に修士全科生として、臨床心理学プログラムの場合、修士論文の審査および口頭試問に合格し、34単位以上を修得することにより、修士（学術）の学位が授与されます。